

熊本県小学校英語教育研究会 芦北水俣支部

令和6年度 研究活動のまとめ

1 研究テーマ

相手意識をもち、考えや気持ちを互いに楽しんで伝え合う子どもの育成

2 研究経過

第1回			第2回			第3回		
期日 5/7	人数 9人	場所 水俣一小	期日 8/1	人数 8人	場所 水東小	期日 1/24	場所 田浦小	芦北町の研究発表会に係る公開授業を参観

3 研究の概要

(1) 研究の内容

① 第1回 期日：令和6年5月7日 場所：水俣市立水俣第一小学校

内容：研究主題の設定と年間研究計画の立案及び研究組織づくり

今年度の研究主題を「相手意識をもち、考えや気持ちを互いに楽しんで伝え合う子どもの育成」と設定し、年間研究計画を立案、作成した。

② 第2回 期日：令和6年8月1日 場所：水俣市立水東小学校

内容：授業づくり研修

夏季休業期間に、授業づくりに関する研修を行った。益城町立益城中央小学校の原口順子指導教諭から授業づくりのポイントについてのご講話をいただいた。単元のゴールの設定について、言語活動を通して指導することについて、音声から文字への指導についてなど、どれも実践に基づいた具体的な内容で、参加者にとって分かり易く、有意義な内容だった。また、二学期に実践する単元の指導計画を作成する活動では、計画を作成する過程で原口指導教諭からアドバイスをいただけたことで、理論と実践が結びつき、授業づくりについて理解を深める良い機会となった。

③ 期日：令和7年1月24日 場所：芦北町立田浦小学校

内容：外国語活動・外国語科の授業参観

芦北町の田浦小学校が実施した研究発表会の公開授業を参観した。外国語活動第3学年「What's this?」と外国語科第6学年「My Future, My Dream」の授業を参観した。6年生の授

業では、児童が「入学前に自分の夢や入りたい部活動などを中学生に知ってもらおう」という単元のゴールに向かって、主体的にコミュニケーションを図ろうとする意欲を引き出す工夫がなされていた。授業研究会では、児童が「やってみたい。伝えてみたい。」と思える単元のゴール設定の工夫や、授業を参観して今後の自身の実践に生かすことなどを話し合うことができ、学びの多い研修になった。

(2) 成果と課題（成果○ ▲課題）

- 夏季休業中の授業づくりに関する研修では、講師から理論を実践に結びつけるための具体的な手立てを指導いただき、授業づくりについて理解を深めることができた。
- 「相手意識を持って考えや気持ちを楽しんで伝え合う」という研究主題を第一回の研修で共有したことで、第二回の研修で互いの実践を発表する際に部会の先生たちの様々な工夫を知ることができ、それぞれの実践に生かすことができた。
- 芦北町立田浦小学校の研究発表会に全員で参加したことで、今年度の取組を振り返るとともに、次年度の実践の方向性について考えることができた。
- ▲ 年度はじめに授業づくりの視点を明確にできなかったため、外国語の授業実践時にどのような手立てを打てばいいのか曖昧な部分が多かった。
- ▲ 限られた会員数での実践であるため、支部の活動として実践したことを、管内の全小学校にひろげていく方法を検討する必要がある。